

配置動線(屋外)計画

“南平の特徴を活かした施設”
 “水と緑のプロムナード”が南平の豊かな自然をつなぎます

1 緑のプロムナード 「木漏れ日のアプローチ空間」

来館者のメインアプローチとなる敷地北側には「安心の歩行空間」をつくります。袖に設けたベンチに腰掛ければ、木漏れ日溢れる「散歩途中の休憩所」となります



2 水のプロムナード 「親水デッキ」

南平用水の清流に直接触れられ、南平公園につながる親水デッキでは、自然豊かな「緑と水の日野市」の環境共生をアピールする、市民のエコ意識の啓蒙の場となります。



3 屋外デッキ 「多摩丘陵の借景」

トレーニングルーム、デッキは「多摩丘陵」の稜線と緑を借景に明るくフレッシュな空間です。南平公園、水のプロムナードと一体で自然豊かな空間をつくります。



“すべての人が使いやすい施設”
 誰もが立ち寄りやすい“アプローチ空間”

4 北側前面道路 「ランニングコース」

北側の道路の歩道を整備し、ランニングコースを新設。「浅川を歩こうコース」「ランニングコース」の中継地点として入口のラウンジを利用できます。



5 緑のプロムナード 「自転車休憩スポット」

浅川からのサイクリングコースの拠点となるよう休憩スポットを設置。ロードバイクのメンテナンスにも利用可能。



6 アプローチ 「雨を防ぐ庇」+「スロープ」

軒先ロビーからエントランスホールまでつながる庇により、駐車場からエントランスまで雨に濡れずにアクセス可能です。段差のないスロープと一体で安心のアプローチ空間をつくります。



＜動線の分離＞
 歩行者、ランニング動線を中央、自転車動線を東側、車両動線を西側に分けることで、接触等の事故を未然に防ぎます。

＜バス停の設置＞
 WSでも要望の多く出た公共交通機関として、バス停の新設を目指します。

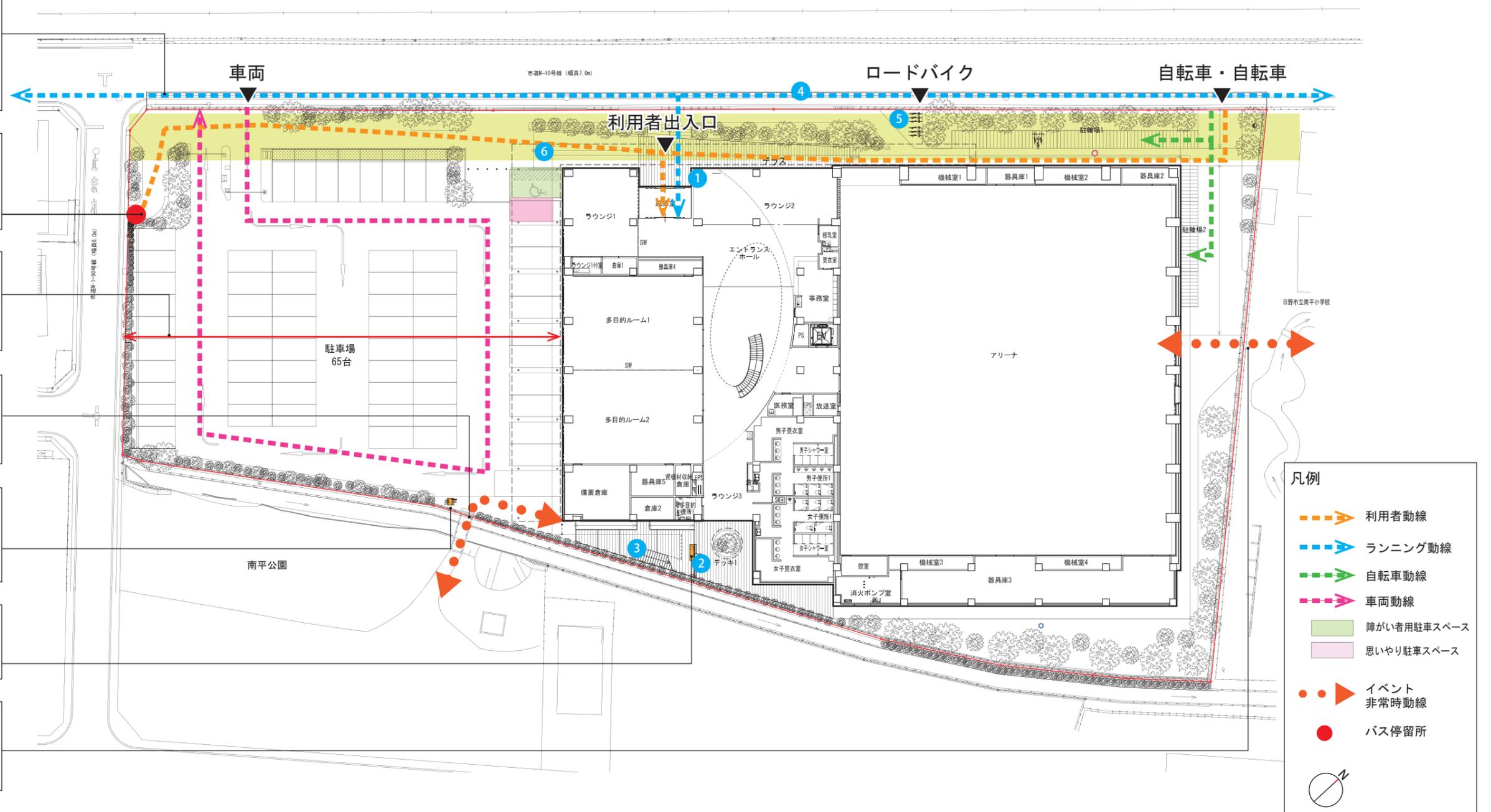
＜住宅地への配慮＞
 十分な隔離距離をとることで、施設利用による音などの影響を軽減します。

＜南平公園との連携＞
 イベント時には、公園側から直接2階デッキに上がることができます。

＜井戸＞
 災害時には、防災井戸としてマンホールトイレの水源等、雑用水として活用します。

＜屋外水場・屋外電源＞
 BON祭りなどの地域イベント時に利用可能。

＜南平小学校との連携＞
 有事の際に、小学校と連携出来るよう、東側に連絡口を設けます。



■敷地条件概要

建設地	日野市南平4丁目23番
敷地面積	6,673㎡
用途地域	第2種中高層住居専用地
法建ぺい率	70% (60%+10%角地緩和)
法容積率	200%
防火地域	準防火地域
高度地区	第2種高度地区
日影規制	3/2時間 (測定面:4m)
その他 地域地区指定	特別用途地区
前面道路	市道M-10号線:7m 市道M-90号線:6m

■建築計画概要

建物名	南平新体育館
用途	体育館
構造	RC造 屋根S造
階数	地上2階
最高高さ	16m
延べ面積	4,920㎡ (容積対象4,620㎡)
建築面積	3,650㎡
容積率	69.23%
建ぺい率	54.69%

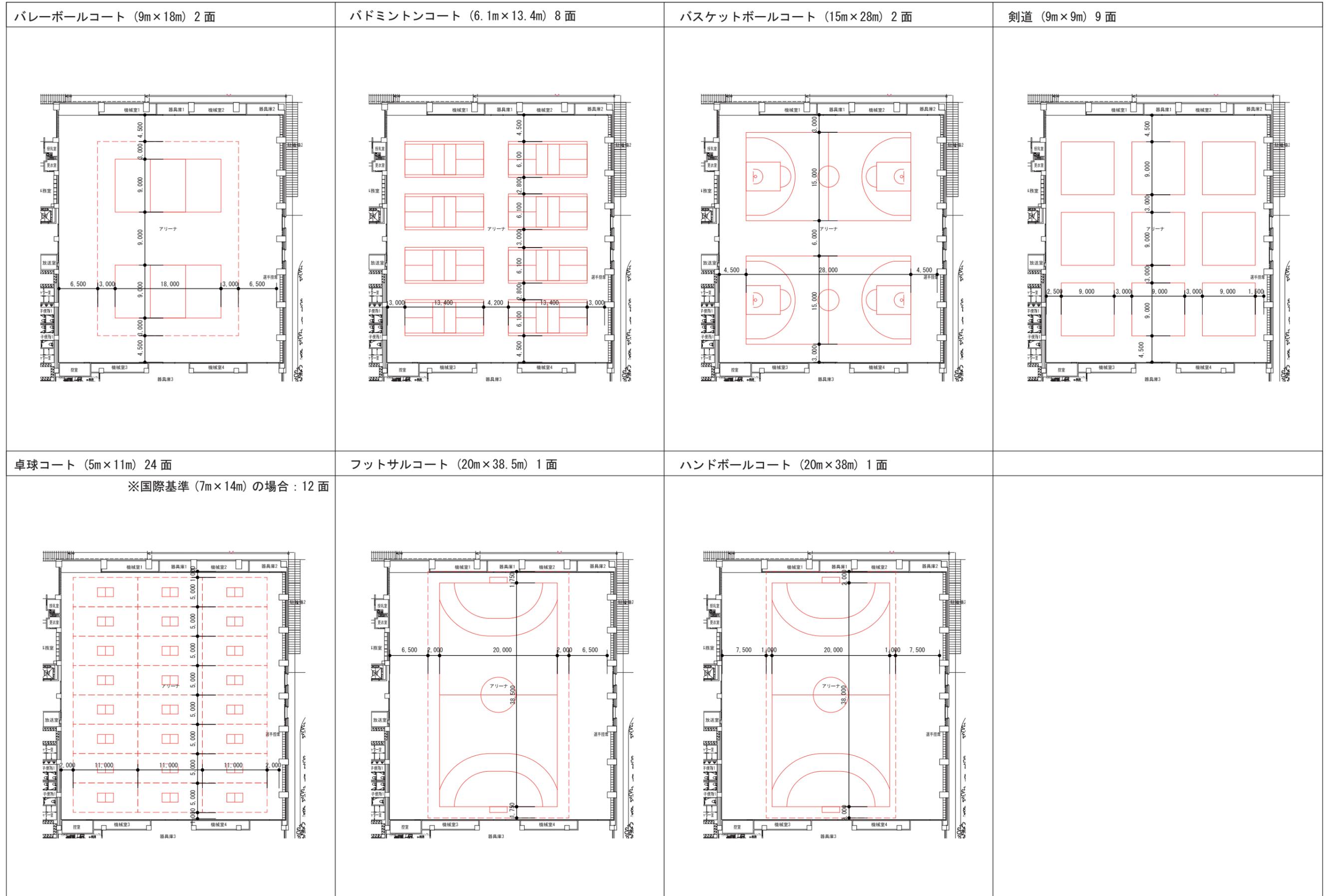
■諸室概要

	室名	用途	室スペック	
			室面積(㎡)	天井高さ(m)
1F	メインアリーナ	アリーナ	1649.24	11.50
	器具庫1	倉庫	11.00	2.50
	器具庫2	倉庫	13.25	2.50
	器具庫3	倉庫	145.97	2.50
	男子更衣室	更衣室	52.42	2.50
	男子シャワー室	—	13.28	2.50
	女子更衣室	更衣室	50.80	2.50
	女子シャワー室	—	12.82	2.50
	男子便所1F	便所	24.16	2.50
	女子便所1F	便所	27.72	2.50
	多目的便所1F	便所	8.79	2.50
	ラウンジ3	ラウンジ	237.70	3.00
	機械室1 (AC)	—	19.56	—
	機械室2 (AC)	—	19.60	—
	機械室3 (AC)	—	15.93	—
	機械室4 (AC)	—	15.93	—
	事務室	事務室	32.96	2.60
	更衣室	職員用更衣室	4.60	2.60
	医務室	医務室	10.07	2.37
	放送室	放送室	7.55	—
	備蓄倉庫	倉庫	47.06	2.50
	資機材収納倉庫	倉庫	7.27	2.50
	倉庫2	倉庫	12.69	2.50
	ラウンジ1	受付	87.59	3.00
	ラウンジ1付室	—	8.90	3.00
	倉庫1	倉庫	8.14	2.50
風除室	—	20.38	2.50	
エントランスロビー	ロビー	117.90	3.00	
ラウンジ2	情報掲示	115.64	3.00	
授乳室	授乳	5.65	2.50	
多目的ルーム1	多目的ルーム	172.50	3.00	
器具庫4	倉庫	12.41	3.00	
多目的ルーム2	多目的ルーム	171.07	3.00	
器具庫5	倉庫	18.35	3.00	
控室	会議室	13.22	2.50	
消火ポンプ室	—	26.17	—	

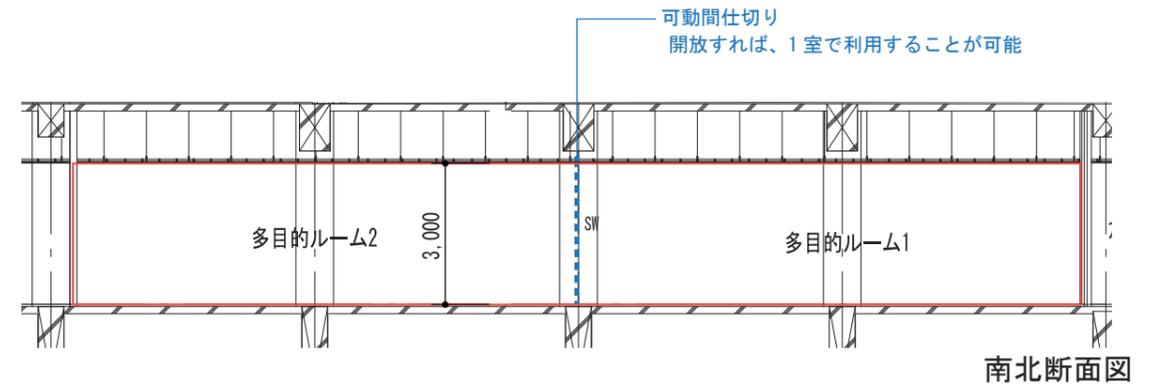
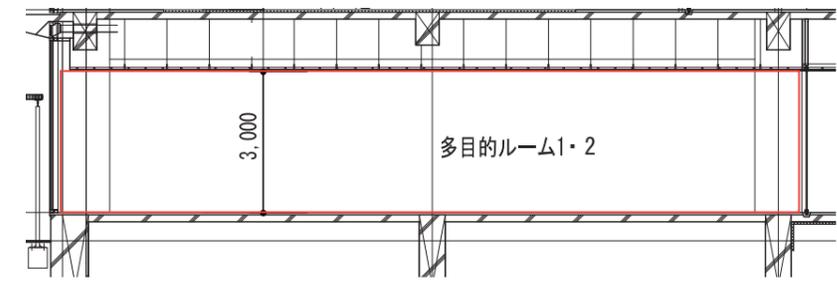
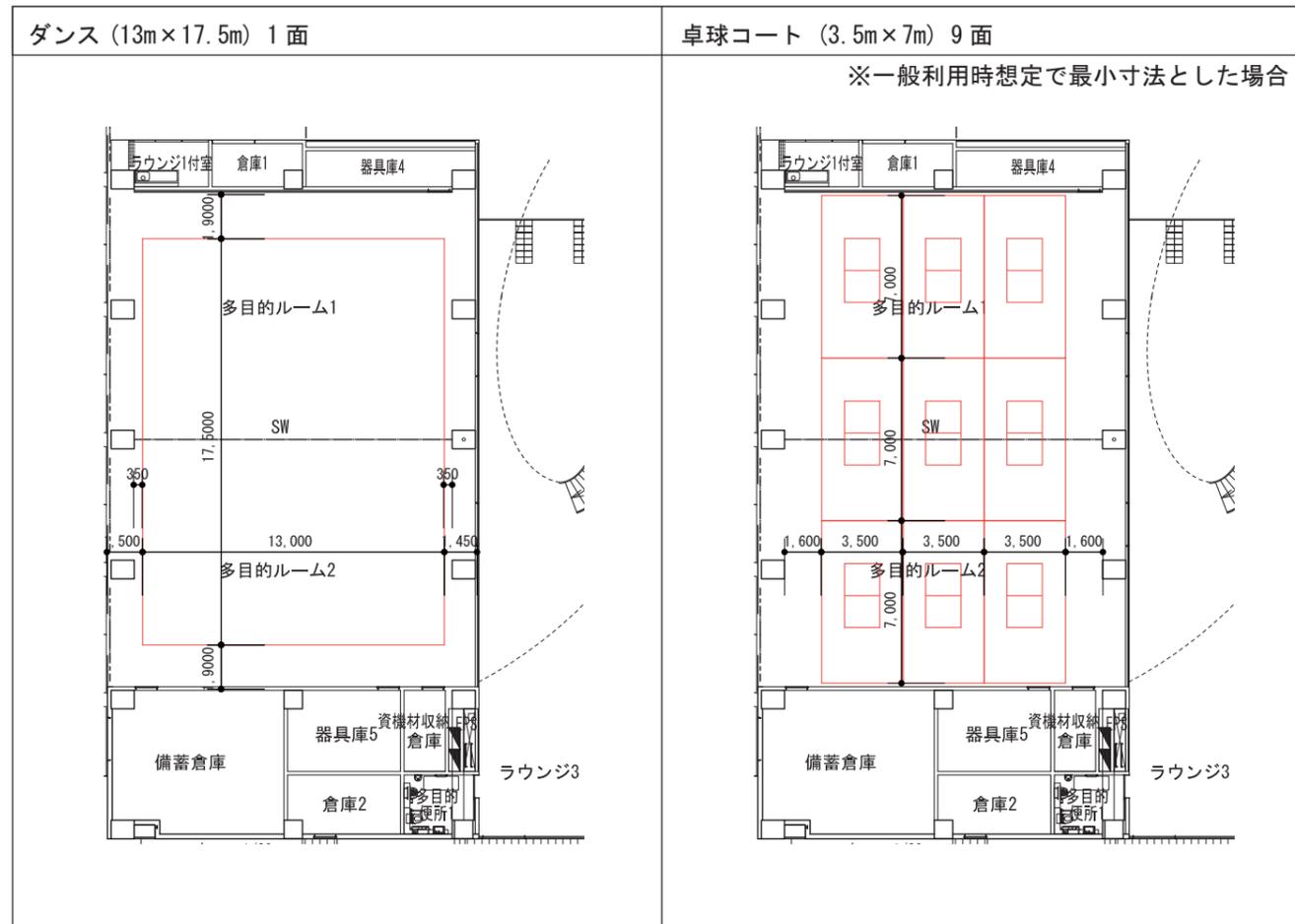
2F	多目的ルーム3 (卓球)	多目的ルーム	120.87	2.80
	倉庫 (多目的ルーム3)	倉庫	14.02	2.50
	トレーニングルーム	トレーニングルーム	181.18	2.80
	倉庫 (トレーニングルーム)	倉庫	8.47	2.50
	弓道場	弓道場	476.64	3.85
	看的所	—	11.68	2.80
	倉庫1 (弓道場)	倉庫	6.59	2.50
	倉庫2 (弓道場)	倉庫	3.19	2.50
	倉庫3 (弓道場)	倉庫	4.97	2.50
	倉庫4 (弓道場)	倉庫	3.92	2.50
	ラウンジ4	ラウンジ	249.78	3.85
	選手荷物置き	観覧スペース	97.06	—
	倉庫4	倉庫	1.56	2.50
	男子便所2F	便所	14.32	2.50
女子便所2F	便所	13.18	2.50	
多目的便所2F	便所	4.84	2.50	

■競技コート配置図 (メインアリーナ 42.0m×37.0m)

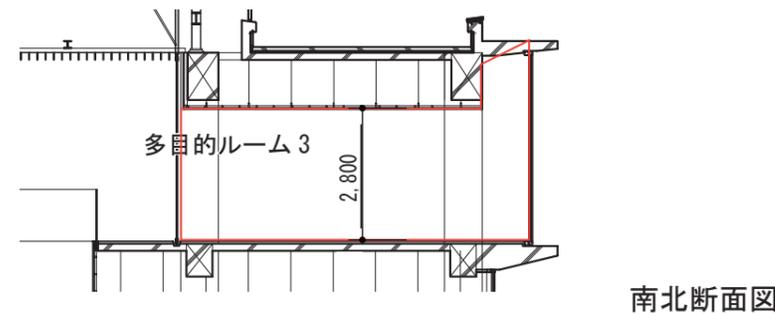
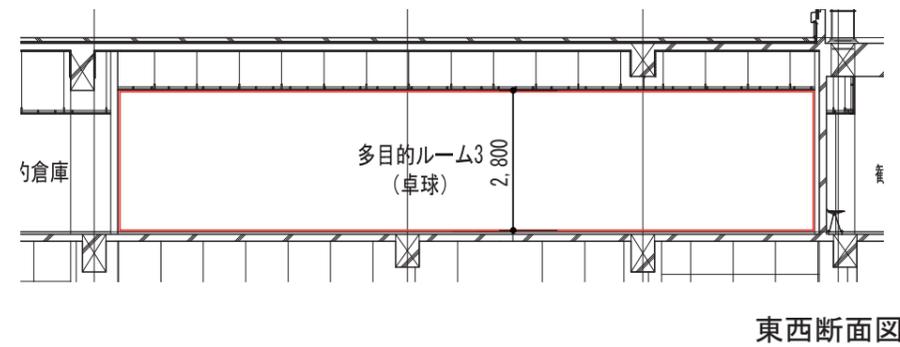
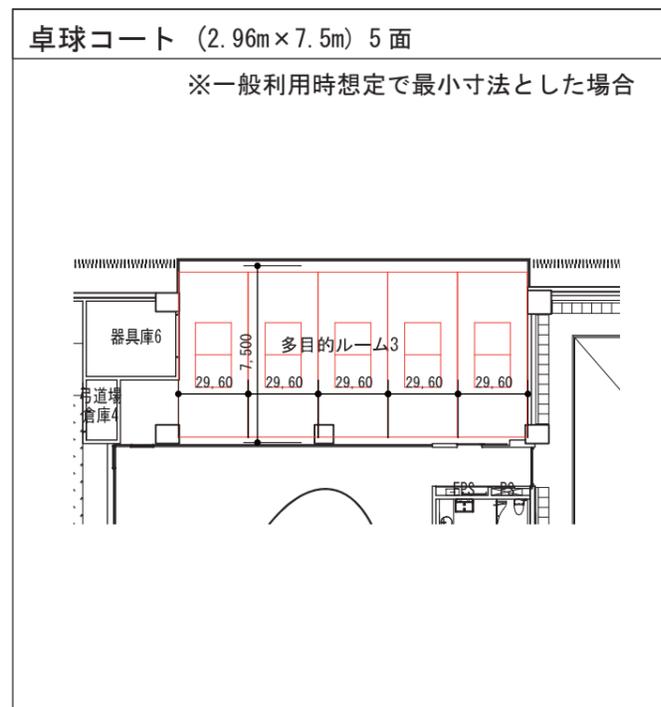
車イス競技でも利用可能なコート寸法です。



■競技コート配置図（多目的ルーム1, 2）



■競技コート配置図（多目的ルーム3）



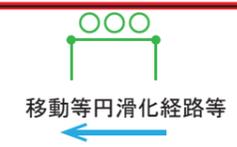
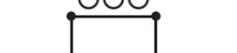
■バリアフリー計画

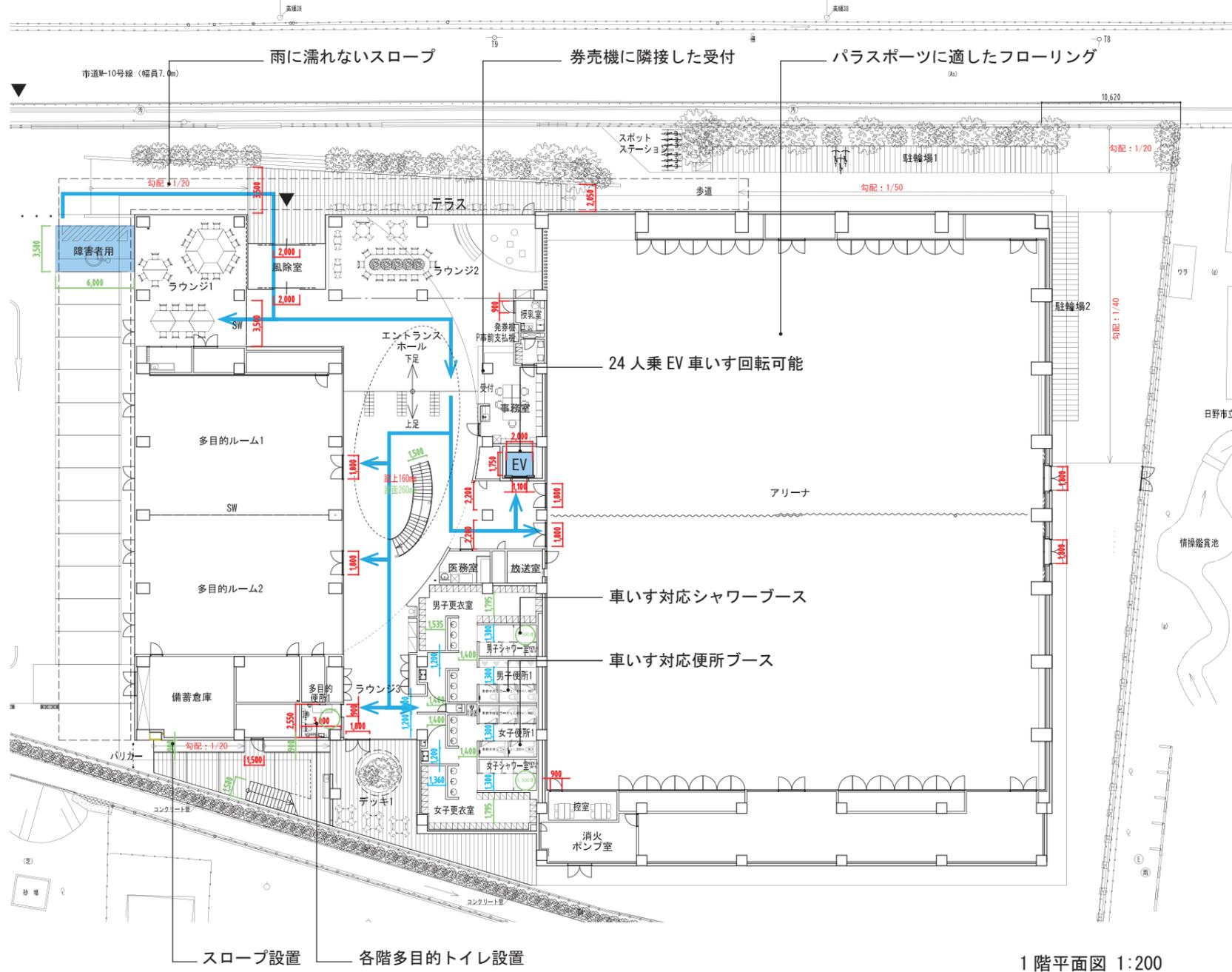
バリアフリーの考え方

東京都「建築物バリアフリー条例」への適用に加え、利用者にとってより使いやすい施設を目指し、要所においては「TOKYO2020 アクセシビリティ・ガイドライン」の基準を満たした計画とします。

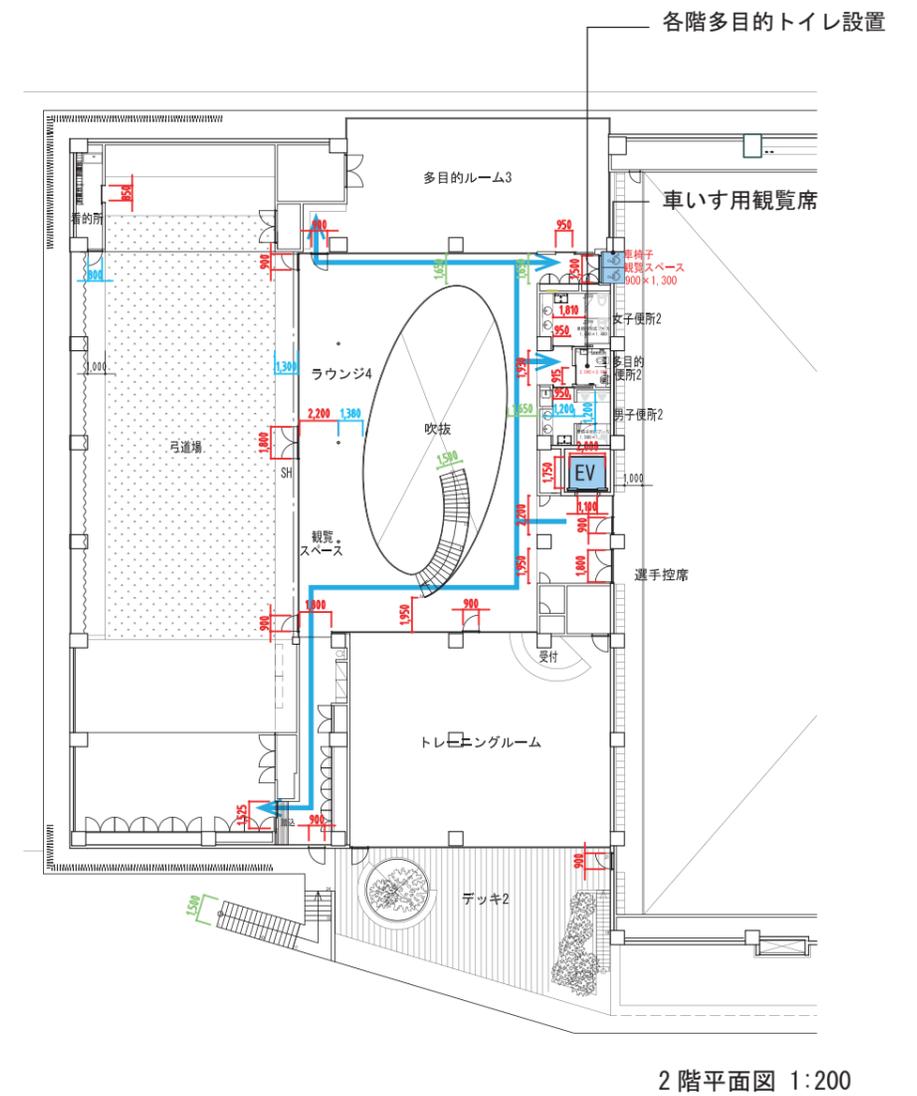
適合義務

努力基準

	「対象となる施設」の該当の有無	計画寸法≧基準寸法
建築物バリアフリー条例	該当	 移動等円滑化経路等
バリアフリー新法	該当	
TOKYO2020 アクセシビリティ・ガイドライン	—	
上記法令等 対象外範囲	—	

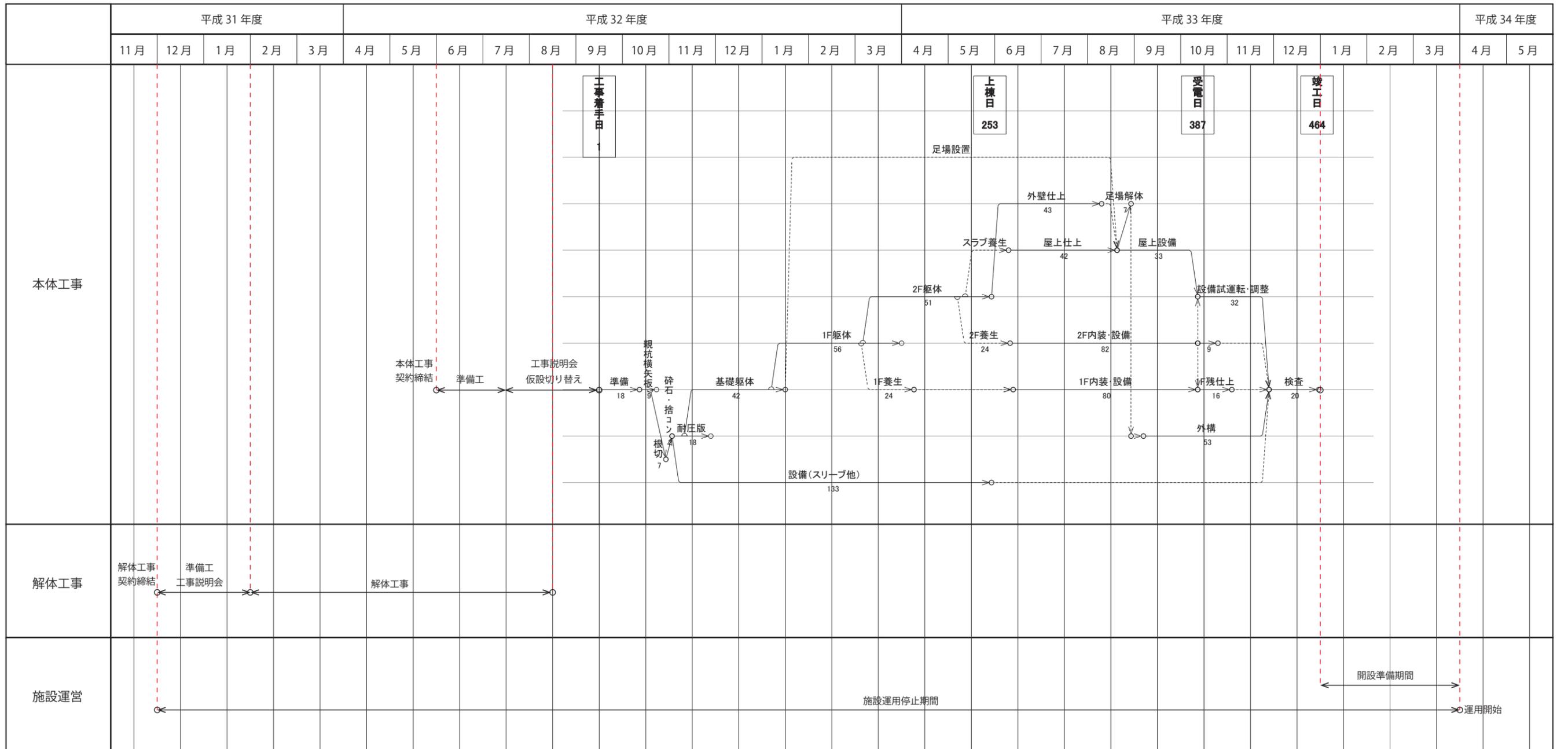


1階平面図 1:200



2階平面図 1:200

■工事工程表



■概算工事費

A 建物概要		本体建物				
建築面積		3,660.0 m ²		1,488.3 坪		
延床面積		4,920.0 m ²		RC造 地上2階		
構造種別、規模						
B 工事費算出		工事費		工事費単価		構成比
		円	円/m ²	円/坪	%	
I 建築工事	1 建築本体工事					
	1 直接仮設	88,000,000	17,890	59,130	3.3	
	2 土工、杭	43,400,000	8,820	29,160	1.6	
	3 躯体	677,900,000	137,780	455,490	25.6	
	4 外部仕上	463,400,000	94,190	311,360	17.5	
	5 内部仕上	486,400,000	98,860	326,820	18.3	
	6 昇降機	6,000,000	1,220	4,030	0.2	
	小計	1,765,100,000	358,760	1,185,980	66.5	
	建築工事費 計	1,765,100,000	358,760	1,185,980	66.5	
	1 直接工事費 計	1,765,100,000	358,760	1,185,980	66.5	
2 共通費						
1 共通仮設費 5.7	100,210,000	20,370	67,330	3.8		
2 諸経費 15.8	293,990,000	59,750	197,530	11.1		
共通費 計	394,200,000	80,120	264,870	14.9		
工事価格 合計	2,159,300,000	438,880	1,450,850	81.4		
消費税相当額 10.0	215,930,000	43,890	145,080			
請負工事費 合計	2,375,230,000	482,770	1,595,930			
II 電気設備工事	II 電気設備工事					
	1 電気設備	301,300,000	61,240	202,450	11.4	
	電気設備工事 計	301,300,000	61,240	202,450	11.4	
	1 直接工事費 計	301,300,000	61,240	202,450	11.4	
	2 共通費					
	1 共通仮設費 3.6	10,720,000	2,180	7,200	0.4	
	2 諸経費 23.3	72,760,000	14,790	48,890	2.7	
	共通費 計	83,480,000	16,970	56,090	3.1	
	工事価格 合計	384,780,000	78,210	258,540	14.5	
	消費税相当額 10.0	38,478,000	7,820	25,850		
請負工事費 合計	423,258,000	86,030	284,390			
III 給排水設備工事	III 給排水設備					
	1 給排水設備	124,500,000	25,300	83,650	4.7	
	給排水設備工事 計	124,500,000	25,300	83,650	4.7	
	1 直接工事費 計	124,500,000	25,300	83,650	4.7	
	2 共通費					
	1 共通仮設費 3.5	4,390,000	890	2,950	0.2	
	2 諸経費 22.4	28,830,000	5,860	19,370	1.1	
	共通費 計	33,220,000	6,750	22,320	1.3	
	工事価格 合計	157,720,000	32,060	105,970	5.9	
	消費税相当額 10.0	15,772,000	3,210	10,600		
請負工事費 合計	173,492,000	35,260	116,570			
IV 空調設備工事	IV 機械設備工事					
	1 空調設備	210,100,000	42,700	141,170	7.9	
	空調設備工事 計	210,100,000	42,700	141,170	7.9	
	1 直接工事費 計	210,100,000	42,700	141,170	7.9	
	2 共通費					
	1 共通仮設費 3.5	7,410,000	1,510	4,980	0.3	
	2 諸経費 22.4	48,650,000	9,890	32,690	1.8	
	共通費 計	56,060,000	11,390	37,670	2.1	
	工事価格 合計	266,160,000	54,100	178,830	10.0	
	消費税相当額 10.0	26,616,000	5,410	17,880		
請負工事費 合計	292,776,000	59,510	196,720			

V 自然エネルギー設備工事	1 自然エネルギー設備工事					
	1 太陽光・蓄電池	28,900,000	5,870	19,420	1.1	
	小計	28,900,000	5,870	19,420	1.1	
	1 直接工事費 計	28,900,000	5,870	19,420	1.1	
	2 共通費					
	1 共通仮設費 3.6	1,000,000	200	670	0.3	
	2 諸経費 23.3	6,970,000	1,420	4,680	0.3	
	共通費 計	7,970,000	1,620	5,360	0.3	
	工事価格 合計	36,870,000	7,490	24,770	1.4	
	消費税相当額 10.0	3,687,000	750	2,480		
請負工事費 合計	40,557,000	8,240	27,250			

VI 外構工事	1 外構工事					
	1 外構工事	66,300,000	13,480	44,550	2.5	
	1 直接工事費 計	66,300,000	13,480	44,550	2.5	
	2 共通費					
	1 共通仮設費 5.7	3,760,000	760	2,530	0.1	
	2 諸経費 15.8	11,040,000	2,240	7,420	0.4	
	共通費 計	14,800,000	3,010	9,940	0.6	
	工事価格 合計	81,100,000	16,480	54,490	3.1	
	消費税相当額 10.0	8,110,000	1,650	5,450		
	請負工事費 合計	89,210,000	18,130	59,940		

VII 解体工事	1 解体工事					
	1 解体工事	156,353,964	31,780	105,060	5.9	
	1 直接工事費 計	156,353,964	31,780	105,060	5.9	
	2 共通費					
	1 共通費・諸経費	41,531,286	8,440	27,910	1.6	
	2 有価物	-5,035,250	-1,020	-3,380	-0.2	
	共通費 計	36,496,036	7,420	24,520	1.4	
	工事価格 合計	192,850,000	39,200	129,580	7.3	
	消費税相当額 10.0	19,285,000	3,920	12,960		
	請負工事費 合計	212,135,000	43,120	142,540		

合計	1 直接工事費 計	2,652,553,964	539,140	1,782,270	100.0	
	2 共通費					
	1 共通仮設費 6.4	169,021,286	34,350	113,570	6.4	
	2 諸経費 16.2	457,204,750	92,930	307,200	17.2	
	共通費 計	626,226,036	127,280	420,770	23.6	
	工事価格 合計	3,278,780,000	666,420	2,203,040	123.6	
	消費税相当額 10.0	327,878,000	66,640	220,300		
	請負工事費 合計	3,606,658,000	733,060	2,423,340		

100%の変動想定の場合	税別	3,278,780,000	666,420	2,203,040	123.6	
	税込み	3,606,658,000	733,060	2,423,340		

以下は上記の金額に含んでいません
 また今後の、社会状況変化に伴う工事費の変動については加味されていません。

- ・地中障害物撤去処分費用
- ・土壌及び地下水汚染物質等分析調査、対策、処分費用
- ・近隣対策費及び調査費（日照/風環境等/家屋調査）/諸式典費用
- ・可動家具・什器備品・ワーク等に関する費用/各種引込負担金/本設引込後の基本料金（電気、ガス、水道）
- ・セキュリティ機器及び通線/電話機PBX/CS・BS受信設備またはCATV受信/情報機器/防災無線機器及び配線
- ・建設に伴う各種申請料

■ 資金計画

概算工事費:3,278,780千円×1.1(消費税)=3,606,658千円(消費税込み)

概算工事費に対する資金計画を下記のとおり示します。

		(単位:千円)	
		内訳	想定額
特定財源	国費	学校施設環境改善交付金 4,000㎡×172,700円/㎡×1/3	207,240千円
	都費	東京都区市町村との連携による地域 環境力活性化事業	20,000千円
	日本スポーツ振興センター	スポーツ振興くじ助成金 (地域スポーツ施設整備助成)	20,000千円
基金		市民体育施設整備基金	600,000千円
地方債		学校教育施設等整備事業(充当率 75% ・対象は、公立の小中学校、特別支 援学校、幼稚園、高等学校、大学、社 会体育施設等の整備事業 ・充当率は学校施設環境改善交付金 を受けて実施する事業(補助事業)、 地方単独事業の両方とも75%	2,519,500千円
一般財源			239,918千円
		合計	3,606,658千円

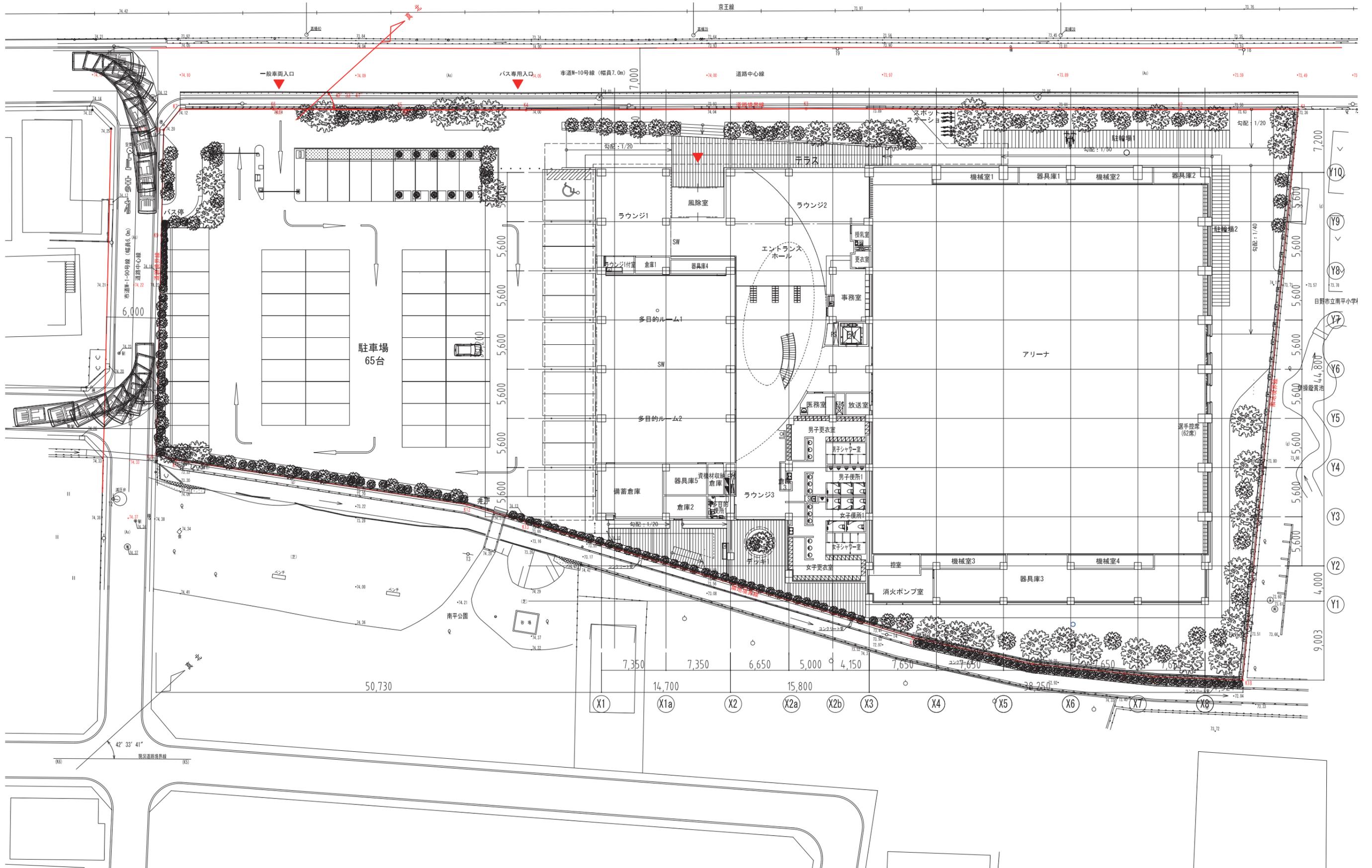
※金額は現時点での予定となります。

■ 特定財源

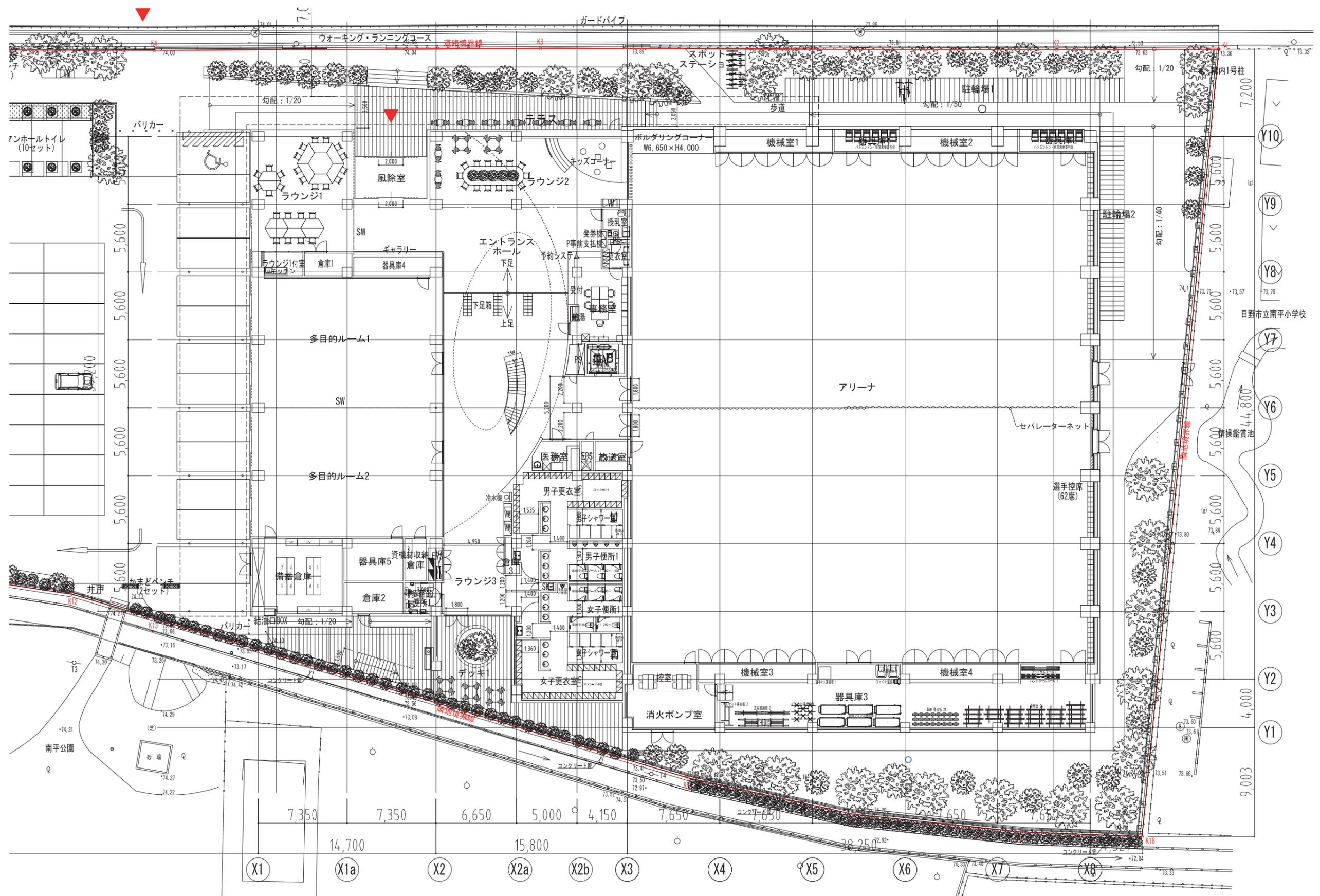
特定財源における検討結果を下記のとおり示します。
※補助金については、年度による補助内容、補助上限額等に変更になる場合がございます。また、査定もある為、当初の想定額より少なくなる可能性があります。

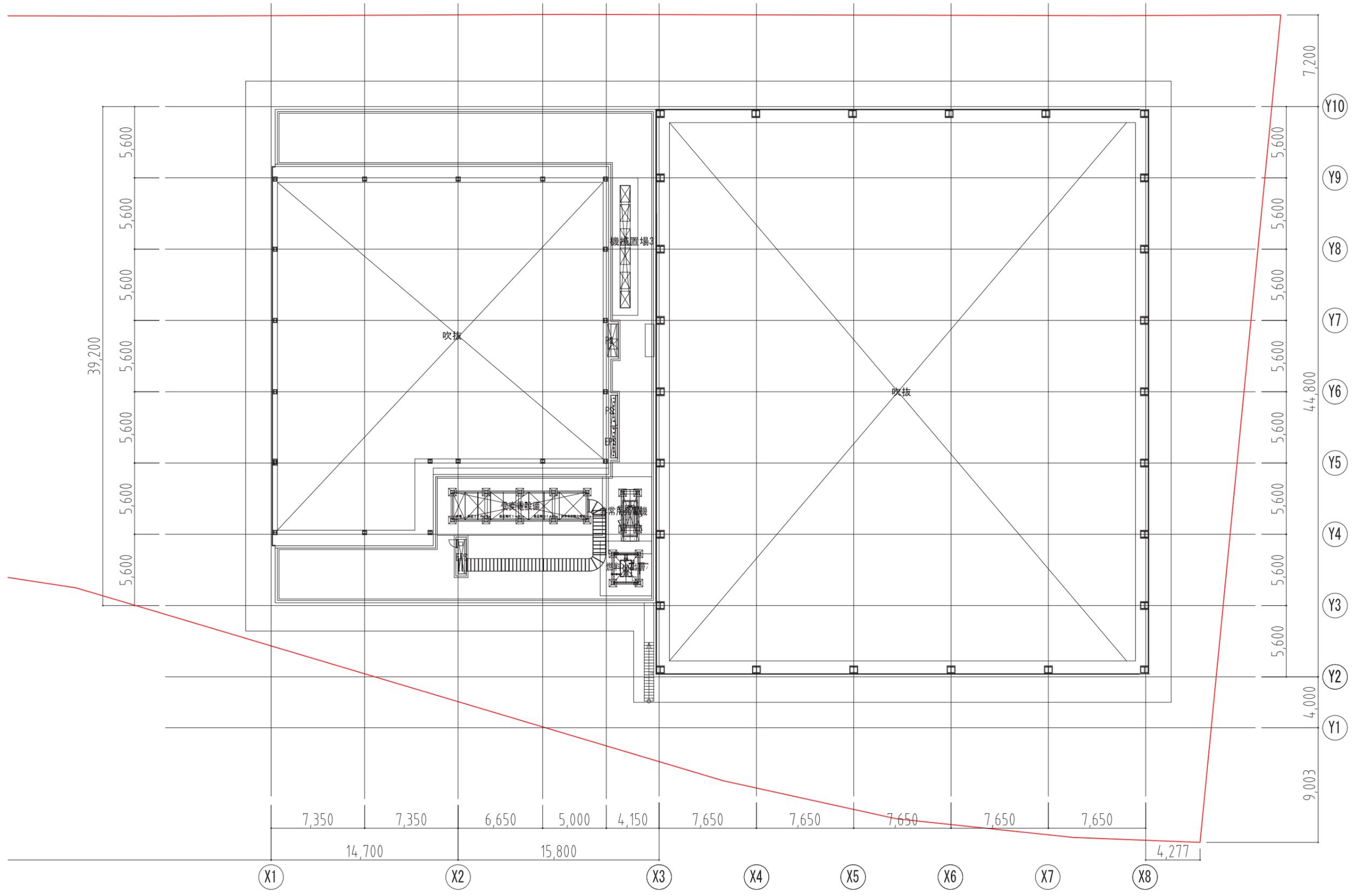
	所管	補助事業名	対象項目	対象経費	充当率	想定補助額	判定	判定理由
補助①	文科省	学校施設環境改善交付金 (社会体育施設整備事業)	建物	工事費	1/3	2億724万 円 (上限値)	○	ヒアリング結果より充当可能と判断
補助②	東京都	オリパラ成功区市町村補助 (スポーツ施設整備費補助金)	建物	工事費	1/2~1/3	1億円 (上限値)	×	本補助金は、平成31年度までの事業が対象 となるため、不採用とする。
補助③	日本スポーツ振興センター	スポーツ振興くじ助成金 (地域スポーツ施設整備助成)	建物	工事費	2/3	2000万円 (上限値)	○	ヒアリング結果より充当可能と判断
補助④	東京都	地域福祉推進区市町村包括補助 事業	建物	—	—	数百万	×	対象とできるメニューがない為、不採用とする。
補助⑤	東京都	東京都区市町村との連携による 地域環境力活性化事業	太陽光・蓄電池	工事費	1/2	2000万円	○	ヒアリング結果より充当可能と判断
補助⑥	林野庁	林業・木材産業成長産産化促進 対策	木造・木質化	木造化に係る増額分 約2億円(材料費)	15%	3000万円	×	ヒアリング結果より、補助率及び採択の可能 性が低く、ハードルも高い。また、補助要綱に 併せた意匠・構造の計画としなければなら ず、当該計画では現実性がない為、不採用と する。
補助⑦	国土交通省	サステナブル建築物等 先導事業	木造・木質化	木造化に係る増額分 約2億円(材料費)	15%	3000万円	×	
補助⑧	国土交通省	社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業) (旧まちづくり総合交付金)	補助要綱に定める高次 都市施設(地域交流施 設)等に該当する部分の 建設費	—	40%	—	×	対象とできるメニューがない為、不採用とする。
補助⑨	東京都 (森林課)	都森林整備林業加速化 整備事業	木質化	現在、公共施設木造化の補助事業は廃止となっている				
補助⑩	東京都 (森林課)	次世代公共施設への 多摩産材利用促進プロジェクト	キッズスペースにおける 多摩産材利用	工事費	1/2	1500万円 (上限値)	△	補助を受けるに当たり、検討項目がある為、実 施設計の中で整理する必要がある。

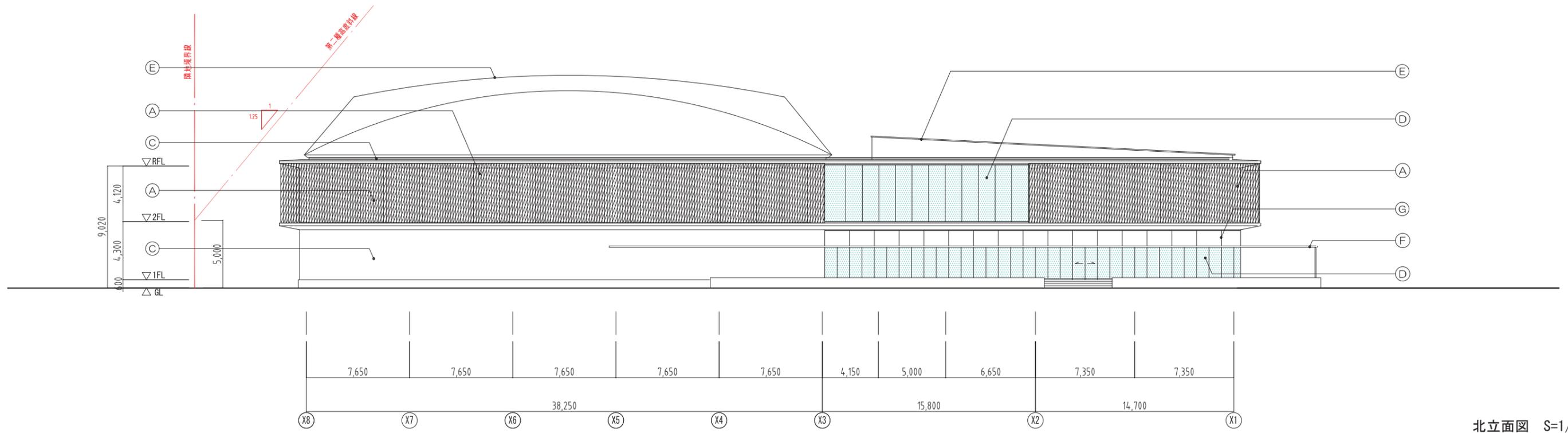
※ ○交付可 △交付可(諸条件あり) ×交付不可もしくは採択の現実性がない



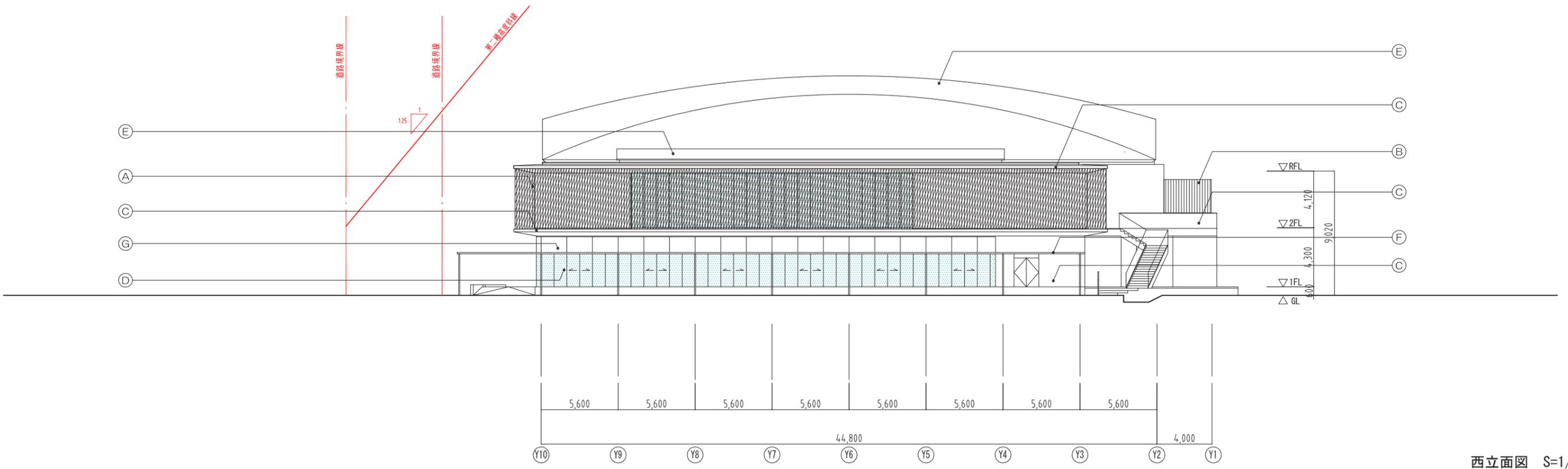
配置図 S=1/400





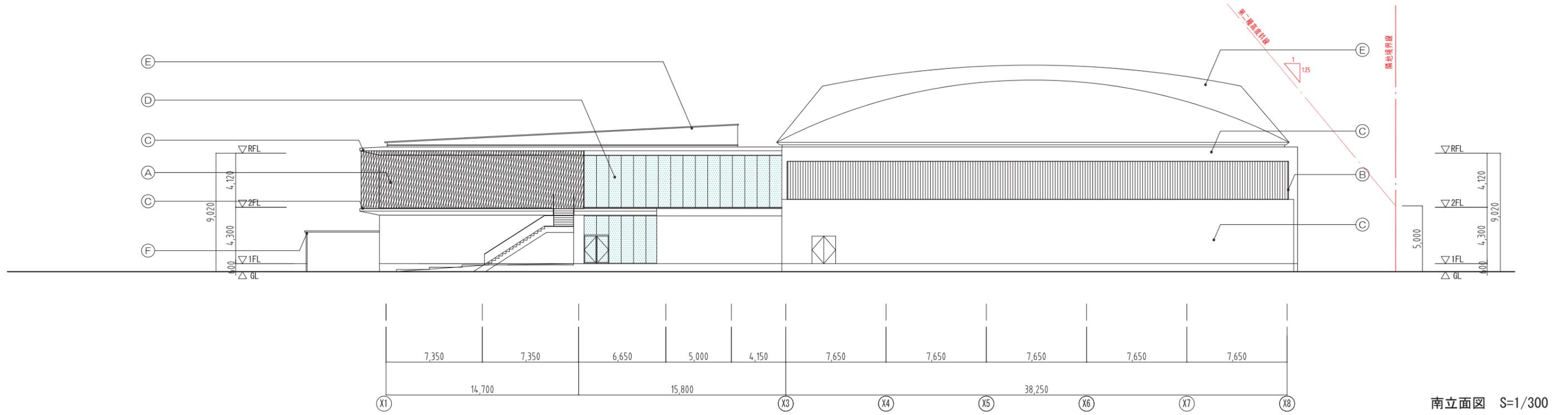


北立面図 S=1/300

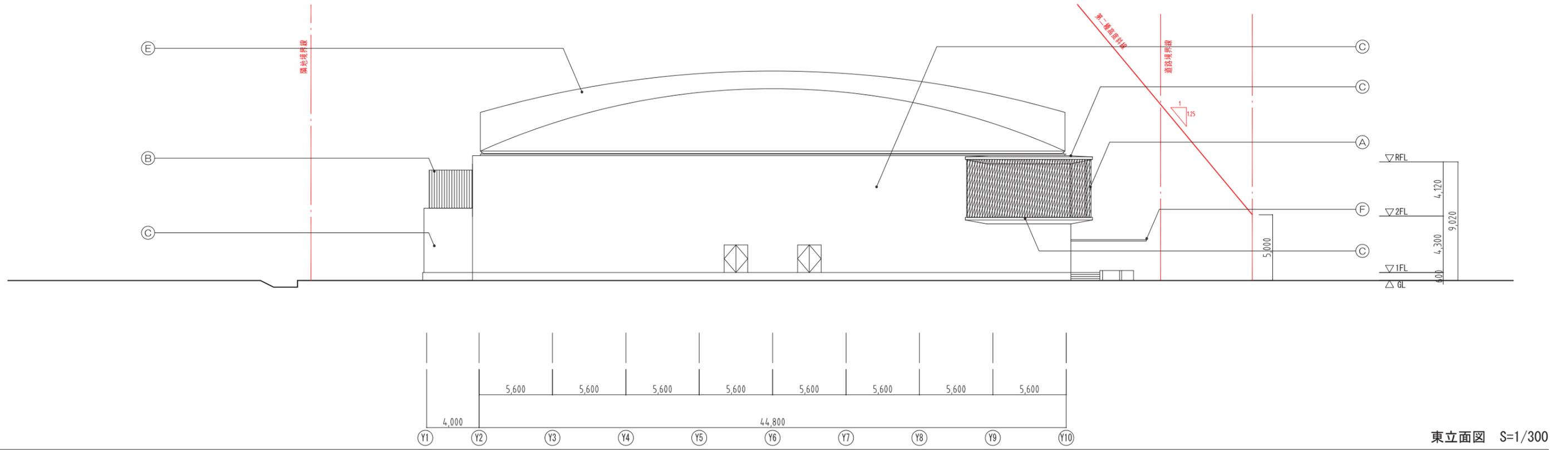


西立面図 S=1/300

凡 例			
Ⓐ	複層アルミルーバー：アルミ押出型材 FUB	Ⓒ	RC+2-FUE ※化粧型枠
Ⓑ	単層アルミルーバー：アルミ押出型材 FUB	Ⓓ	アルミサッシ：B種
		Ⓔ	ガルバリウム鋼板 FUB
		Ⓕ	アルミハニカムパネルt100 FUB
		Ⓖ	アルミPLt=1.6 FUB



南立面図 S=1/300



東立面図 S=1/300

凡 例			
(A)	複層アルミルーバー：アルミ押出型材 FUB	(C)	RC+2-FUE ※化粧型枠
(B)	単層アルミルーバー：アルミ押出型材 FUB	(D)	アルミサッシ：B種
		(E)	ガルバリウム鋼板 FUB
		(F)	アルミハニカムパネルt100 FUB
		(G)	アルミPLt=1.6 FUB

